

所属・資格 中国語中国文化学科・教授

申請者氏名 神谷 まり子

研究課題		中国通俗文芸雑誌に関する基礎的研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	中国近代通俗文学研究において民国期の通俗小説雑誌に関する調査が不可欠であるという観点から、民国初期に上海において出版された通俗文芸雑誌に関して基礎的研究を行い、出版状況・編集方針・掲載作品などを含め、通俗文学作家およびその文学状況に関する研究を行う。
	研究の結果	上海で発行された通俗文芸雑誌の最盛期である1920年代のメディアのうち、代表格である『半月』および『紅雑誌』といった文芸誌に注目した。リプリント版の詳細な調査および発行・出版の経緯などを検討する過程で、当時の通俗文芸雑誌が魯迅らの新文学や進歩派知識人による文芸メディアと連動するものであり、一部の特集や作品テーマにおいて共通点などを持つものであることを解明した。具体的に、『半月』の一部の女性に関連する特集号、例えば婚姻号や離婚号、娼妓問題号などは、硬派な論文誌であった『婦女雑誌』の影響を受けつつ、同様の特集を企画していたが、それと同時に女性観においてはより広範な読者に応えるべく、多種・多様で、ときに新旧相交えるイメージが反映されていたことがわかった。
	研究の考察・反省	上記に記した研究目的・概要について、現在日本国内で収集可能な資料をすべて検証することができた。一方、海外での調査が必要な部分については、次年度以降に調査を進め、さらに研究を深めてゆく所存である。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 (研究発表) 神谷まり子「試論妓女文學在中國の變遷以及倡門小説——以《半月》雜誌為中心」、シンポジウム「日台若手研究者會議——近現代中国・台湾における通俗小説と通俗文化研究」、2018年7月28日、於関西大学 (論文等)	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	(共著) 大東和重、神谷まり子、城山拓也編『中国現代文学傑作セレクション——1910-40年代のモダン・通俗・戦争』勉誠出版、2018年6月 解説「妓女をめぐる文学」「連載小説と「騙す女」」執筆(389~392頁、440~443頁、全8頁) および翻訳「上海特急」(張恨水著、393~439頁、全43頁)、「北里の赤子」(畢倚虹著、352~366頁、全14頁)、「悔恨記」(朱瘦菊著、367~388頁、全21頁)	